

2 高齢者ができることを みつけて 支えて

介護予防に「自立支援モデル共創プロジェクト」を始めます

市高齢者支援課は、厚労省事業「令和4年度アジャイル型地域包括ケア 政策共創プログラム」に参加し、各分野で活躍する講師による専門的な指導を受けながら高齢者を取り巻く課題の明確化、課題解決への方針を検討してきました。

この取組を踏まえ、令和5年度から、フレイルになっても自立した生活を続けていくことができるように「自立支援モデル共創プロジェクト」を始めます。

1 「自立支援モデル共創プロジェクト」とは

令和4年度のプログラムから導き出した4つの課題に対して、解決に向けた4つの方針を定めました。令和5年度は、関係者が連携してモデルケースを実施しながら、具体的な方策を検討していきます。

《4つの課題》

- ① 心身に支障が出始めた時点で、受診・相談する人は少ない
- ② 心身に支障が出始めた人に勧められるサービスが少ない
- ③ 介護認定で「要支援者」とされた人に対するケアマネジメントが難しい
- ④ 機能改善・回復できた人と地域資源を結び付ける役割の人が少ない

《4つの方針》

- ① 市民への啓発
フレイルに早く気づいて、改善に向けて動き出すよう勧める
- ② 機能回復・予防の体制構築
リハビリ専門職と連携して、機能回復できる仕組みを整える
- ③ 本人の望みを実現するケアマネジメント
フレイルになる前の生活を取り戻すことができるように支援する
- ④ 一人一人のニーズに応じる生活支援体制
高齢者を支えるためのネットワーク構築やマッチングを行う

【第1回 自立支援モデル共創プロジェクト会議】

日時：令和5年3月31日（金） 15：00～

会場：iプラザ（国府台57-7）2階（ふれあい交流室3）

2 「令和4年度アジャイル型地域包括ケア政策共創プログラム」とは

高齢者の暮らしを支える人と地域の可能性を最大化するため、豊富な支援実績を持つメンター陣のハンズオン支援により、環境変化や地域課題に向き合える自治体の基盤づくりを目指す、地域包括ケア・地域共生社会を実現する推進エンジンです。令和4年度は、全国で14市町村が参加しました。